

安全データシート

新規作成 : 2010年10月 5日
改訂 : 2024年 5月10日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : M S P S – A g 1

供給者情報 会社名 : 三菱製紙株式会社

住所 : 〒130-0026 東京都墨田区両国2丁目10番14号

担当部門 : 技術本部 安全環境品質保証部

問い合わせ窓口 : 機能商品事業部 機能商品営業部 (電話番号 : 03-5600-1488(代表))

奨励用途 : 銀鏡めつき専用処理液

使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

G H S 分類

物理化学的危険性 : 分類基準に該当しない又は分類できない

健康に対する有害性 : 皮膚腐食性／刺激性 区分 2

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分 2

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 区分 2 (呼吸器)

環境に対する有害性 : 水生環境有害性 短期 (急性) 区分 1

水生環境有害性 長期 (慢性) 区分 1

ラベル要素



感嘆符

健康有害性

環境

注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 皮膚刺激

強い眼刺激

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (呼吸器)

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

取扱い後は手をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

環境への放出を避けること。

保護手袋、保護衣、保護マスク、保護眼鏡あるいは保護面を着用すること。

ミスト／蒸気を吸入しないこと。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
 化学品名又は一般名 : 銀鏡めっき専用処理液
 成分及び含有量

	官報公示整理番号	Cas No.	含有量%
銀及びその水溶性化合物	既存	社外秘	1. 3 (銀として)
水	対象外	7732-18-5	> 95

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい体勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合は洗濯をすること。多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 本製品自体は燃焼しませんが、可燃物の燃焼を助長する可能性があります。大量の水で消火する。
- 使ってはならない消火剤 : 特になし
- 特定の消火方法 : 消火活動は、風上から行ってください。
 周辺火災の場合には移動可能であれば、速やかに安全な場所に製品容器を移動させてください。移動不可能な場合は、容器及び周辺に散水して冷却してください。消火のための放水等により、製品が環境に流出しないよう処置を講じてください。
- 保護具等 : 消火の際は自給式呼吸器具及び完全防護服(耐熱性)を着用してください。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 :
 関係者以外の立入を禁止する。
 作業者は適切な保護具を着用する。(8. ばく露防止及び保護措置参照)

環境に対する注意事項 :

河川等に排出され、環境へ影響を及ぼさないよう注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 :

漏出源を遮断し、漏れを止める。少量の場合、乾燥砂、土などに吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。漏出した場所は食塩水を散布した後、多量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気：「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。

注意事項：ミスト、蒸気を吸入しないでください。

取扱い後は手を良く洗ってください。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないでください。

環境への放出を避けてください。

保護手袋、保護衣、保護マスク、保護眼鏡あるいは保護面を着用してください。

保管

適切な保管条件：施錠して保管すること。

直射日光を避け、容器を密栓して、換気の良い冷暗所に保管する。

凍結させないでください。

安全な包装容器材料：ポリエチレン等。要遮光

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：屋内作業場での使用の場合は、全体換気装置、局所排気設備を設置してください。この製品を貯蔵ないし取り扱う作業場所の近くに、緊急時に洗眼、及び身体洗浄を行うための設備(洗眼機、水道、安全シャワー等)を設置してください。

管理濃度：未設定

許容濃度	日本産業衛生学会 ACGIH	銀および銀化合物 (Agとして) 銀の水溶性化合物 (Agとして)	0.01mg/m ³ TWA 0.01mg/m ³
保護具	呼吸器 手 眼 皮膚及び身体	空気呼吸器、防毒マスク ゴム製などの不浸透性の手袋 保護眼鏡又は安全ゴーグル ゴム製の前掛け、長靴、保護衣などの不浸透性の保護具	

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	：液体	色	：無色
臭い	：無臭	融点	：未測定
沸点	：未測定	可燃性	：データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：データなし			
引火点	：引火性なし	自然発火温度	：データなし
分解温度	：データなし	p H (at 25°C)	：中性
動粘性率	：データなし	溶解度	：水と自由に混和
n-オクタノール／水分配係数	：データなし	蒸気圧	：データなし
相対密度 (at 25°C)	：0.95-1.05	相対ガス密度	：データなし
粒子特性	：非該当		

10. 安定性及び反応性

反応性：酸化性があるので、酸化されやすい物質と接触すると反応する。

化学的安定性：通常の取扱い条件下では安定。

危険有害反応可能性：特になし。

避けるべき条件：日光、高熱

混触危険物質：可燃物、還元剤、アンモニア

危険有害な分解生成物：火災時に加熱されると分解して刺激性又は毒性のガス (NOx) を放出する。

1 1. 有害性情報

急性毒性：実測値はないが、成分から推定した値では2000mg/kg（ラット経口）以上。

皮膚腐食性／刺激性：区分 2

・銀及びその水溶性化合物 区分 1

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：区分 2

・銀及びその水溶性化合物 区分 1

呼吸器感作性又は皮膚感作性：情報が少なく分類できない

生殖細胞変異原性：情報が少なく分類できない

発がん性：情報が少なく分類できない

生殖毒性：情報が少なく分類できない

・銀及びその水溶性化合物 区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：情報が少なく分類できない

・銀及びその水溶性化合物 区分 3 (気道刺激性)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 2 (呼吸器)

・銀及びその水溶性化合物 区分 1 (呼吸器)

誤えん有害性：情報が少なく分類できない

1 2. 環境影響情報

生態毒性：

水生環境有害性 短期（急性）：区分 1

・銀及びその水溶性化合物 区分 1

甲殻類（オオミジンコ）による48時間EC50=0.0014mg/L (0.0009mgAg/L) (CICADs 44, 2002)

水生環境有害性 長期（慢性）：区分 1

・銀及びその水溶性化合物 区分 1

魚類（ニジマス）の60日間LOEC=0.00016mg/L (CICADs 44, 2002)

残留性・分解性：製品データなし

生体蓄積性：製品データなし

土壤中の移動性：データなし

オゾン層への有害性：分類できない

(モントリオール議定書の付属書に記載される物質は使用していない)

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：廃棄する場合は、関連法規並びに地方自治体の基準に従ってください。

都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理してください。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託してください。

汚染容器及び包装：容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従い、適切に処分してください。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去してください。

1 4. 輸送上の注意

船舶輸送は危規則の規定に従ってください。

国連番号：UN3082

国連分類：クラス 9 (有害性物質)

容器等級：III

1 5. 適用法令

安衛法：通知対象物質 銀及びその水溶性化合物（含有量 銀として1.3%）

皮膚等障害化学物質等 皮膚刺激性有害物質 銀及びその水溶性化合物

化管法：第1種指定化学物質 銀及びその水溶性化合物（管理番号82、含有量 銀として1.3%）

毒劇法：非該当

消防法：非該当

船舶安全法：有害性物質

航空法：有害性物質

海洋汚染防止法：海洋汚染物質

1 6. その他の情報(引用文献等)

独立行政法人 製品評価基盤機構 「化学物質総合情報提供システム（CHRIPI）」

「GHS分類対象物質一覧」

本シートの内容は発行時における知見に基づいて作成したものです。作成の目的は製品の安全に関する情報を提供するものであって、性能・品質を保証するものではありません。記載事項は今後の知見により改訂されることもあります。記載内容の内、含有量・物理的及び化学的性質などの値は保証値ではありません。注意事項は通常の取扱い対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点をご考慮願います。危険・有害性の情報は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。